2. 東海環状自動車道

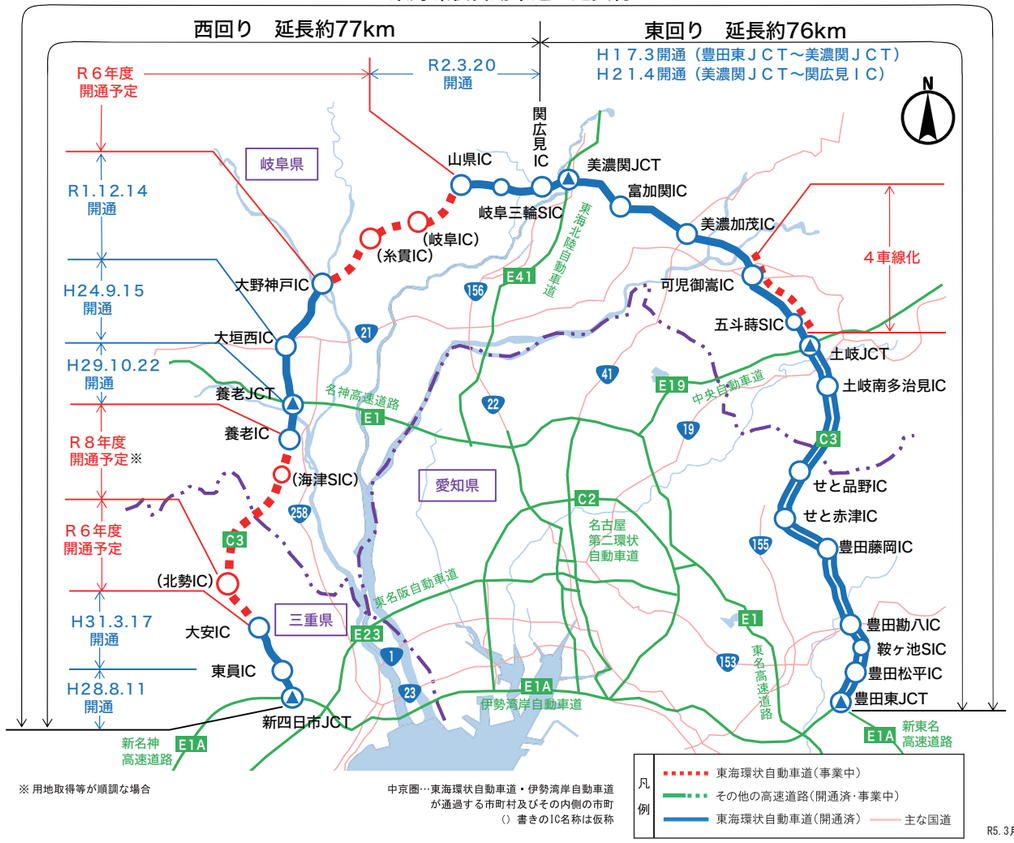
① 東海環状自動車道の進捗概要

○国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨がる延長約153kmの高規格道路。

○中京圏の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果を発揮します。

○道路の整備により、企業立地等の沿線開発が中長期に進み、開発の効果は子孫に引き継がれていきます。（ストック効果）

東海環状自動車道　延長約153km



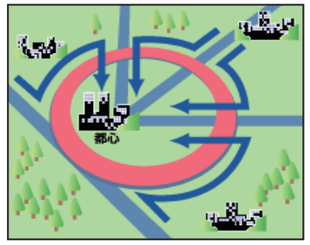
※ 用地取得等が順調な場合

中京圏…東海環状自動車道・伊勢湾岸自動車道が通過する市町村及びその内側の市町
（）書きのIC名称は仮称

R5.3月末時点

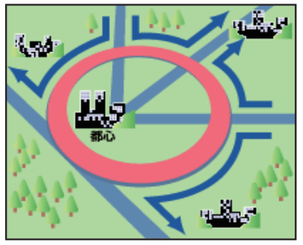
環状道路の機能

■分散導入機能



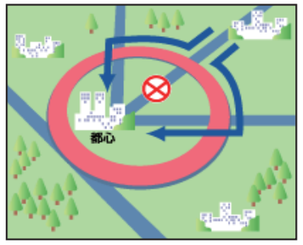
郊外から都心部への交通を分散導入することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■バイパス機能



通過交通の都心部への流入を抑制することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■非常時の迂回機能

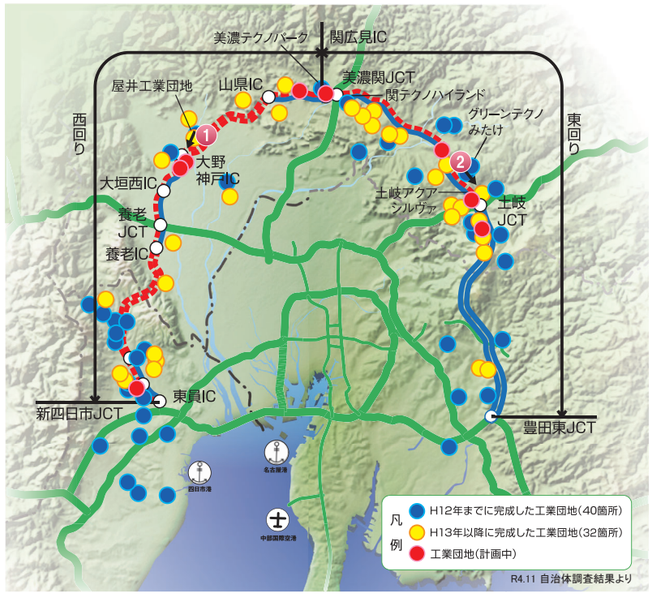


災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに迂回誘導が可能になります。

② ストック効果（民間需要誘発） 工業団地が整備される等、民間需要が誘発

【効果】 ○東海環状自動車道（東回り）全線工事着手後、沿線市町の工業団地の立地企業数が約1.9倍に増加し、171企業が進出、約2.5万人の雇用が創出され、製造品出荷額等が約8.4兆円増加。

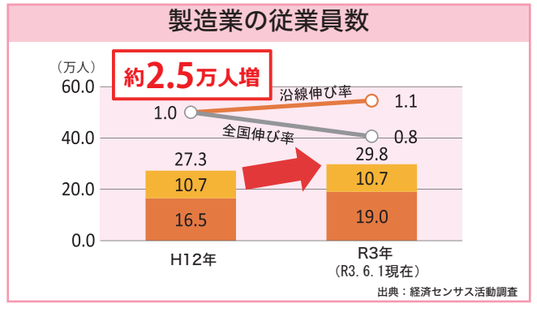
【期待】 ○東海環状自動車道（西回り）沿線では、36箇所の既存工業団地に加え、開通を見据えた更なる企業の進出が期待されています。



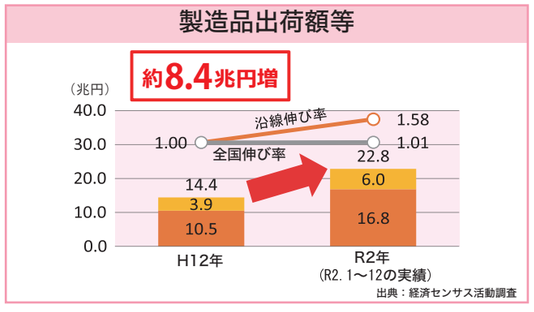
西座倉土地区画整理事業（神戸町）

インターチェンジ周辺土地区画整理事業（大野町）

製造業の従業員数



製造品出荷額等



※沿線自治体：東海環状自動車道が通過する市町（東回り：8市4町、西回り：7市4町）

2. 東海環状自動車道

開通に向け工事が進む　東海環状自動車道（西回り）

山県IC～大野神戸IC:令和6年度開通予定

養老IC～(仮称)北勢IC:令和8年度開通予定

旬な現場をご案内します。　○詳しくは、国土交通省岐阜国道事務所HP、または　工務課（連絡先：058-271-9814）までお問い合わせ下さい。